

学校だより



まいおか

横浜市立 舞岡小学校
令和2年 1月 7日

1月号

「令和2年に思うこと」

校長 岩田 明正

保護者、地域の皆様、昨年中は本校の教育活動に多大なるご支援、ご協力をいただき、ありがとうございました。また、昨年12月21日に行われた「ふれあい学習発表会」に多数の方々にご参加いただきました。おかげさまでとても良い発表会を行うことができました。行事に向けた学習、準備活動に際して、地域の方々丁寧に、熱心にご指導をいただきましたこと、重ねて御礼申し上げます。

さて「令和2年」がスタートいたしました。ついこの間、新年号が発表され、なんだか社会全体がお祭りムードに包まれたかと思っていましたら、もう次の新しい年に移っていく。なんだか時の流れの速さを感じてしまいます。

思い返すと令和元年是楽しく明るい出来事と、災害など悲しい出来事が入り交じった年でした。令和天皇即位に関わる儀式やパレードに沸いたり、ラグビー日本代表の活躍でラグビーブームが巻き起こったり、吉野彰氏のノーベル賞受賞など明るいニュースも多くあったのですが、一方では台風や大雨による洪水、土砂崩れなど、人間の想像を超えた自然の猛威にさらされたり、何の罪もない人たちが巻き込まれ、尊い命が犠牲となってしまう、一般社会の常識を超えてしまうような犯罪も発生したりしました。美しい調和＝令和という新時代の幕開けは喜ばしいことなのだけでも、決して楽観視できないはじまりだったように思います。

令和2年。令和になって初めてまるまる1年間が「令和」となる年。何をいっているの？と思われるかもしれませんが、私個人としては、ある意味今年からが令和という時代の本番のように感じられてなりません。それだけに新年の始まりに際して、こういう年だったら良いな。こんな年にしたいなという思いがいつもより強いような気がします。

いろいろ考えていると、願いはとめどなくあふれ出すのですが、その中で強く望んでいることはこれからの時代が「心が大事にされる」時代になってほしいということです。といいますのは、災害等でのボランティアの活躍や、チームが一つに団結して発揮する力のすごさを知って、私たちは人と人のつながりのすばらしさ、人の優しさ、気持ちの強さがどのような困難も乗り越えていく力になることを目の当たりにしました。しかし、その反面、人としての感情の歪みや、コミュニケーション不足による他者理解力の欠如による事件、効率や利益追求ばかりを優先した末に生じた事件や問題があまりにも多すぎました。AIなどコンピュータの発達やスマホなどの普及による情報伝達システムの発達があまりにも急速すぎて、社会がどんどん複雑化し、人が置き去りにされている、それが今という時代のような気がしてなりません。それだけに今一度、私たちにとって人と人のつながりや、人の気持ち、心がどんなに大切なものかを、ちょっと歩みを緩めて見つめなおす時期にきていると考えるのです。

先にも書きましたが、人の力のすばらしさを示してくれている事例もたくさんあります。そこから大切なことを学び取り、自分の身の回りで生かし、幸せを実現させていくような社会。いってみれば令和が「心の時代」と呼べるようになってほしいと強く願っています。

そんな社会をつくっていくために私たち教職員は「コミュニケーション」「心を大事にする」「自他ともに大切にできる」「正しく判断する」力をもった子どもたち（未来をつくっていく人たち）を育てることが大きな使命だとあらためて認識し、全力を尽くしていきたいと思っております。もちろん皆様からのお力添えも必要不可欠です。引き続きご支援のほどお願いいたします。

最後になりましたが、本年が皆様にとって良い1年になりますよう、心からお祈り申し上げます。



ふれあい学習発表会

昨年(2022)の12月21日に行いました。

インフルエンザの流行で2つのクラスが「学級閉鎖」をした状態での開催となりましたが、たくさんの方々にご覧いただきました。時間をかけ頑張って取り組んできただけに、やり遂げた充実感が感じられる発表になりました。

1年生「しぜんのおくりもの」

コツコツと集めたどんぐりを使って、「どんな遊びができるかな?」と問いかけ、遊んでみました。子供たちの柔軟な発想から、楽しいゲームがたくさんできました。ルールを考え、「難しすぎないかな。」と改良を加えている姿に、成長を感じました。当日のゲームの案内にも、生き生きと取り組む様子が見られました。



3年生「まいおかばやし」

「舞岡の伝統を伝えたい」という思いから、舞岡囃子の劇や体験会をしました。クラスごとにどうしたら舞岡囃子の良さを伝えることができるかを考えました。当日は、来てくれたたくさんの方々に舞岡囃子の伝統を伝えることができました。



5年生「舞Tuber」「木原調査隊」

1組では、情報を発信する側がしていることや気を付けることを発表したり、動画制作の楽しさを味わってもらったりしました。2組では、身近な食材である小麦について、発見した驚きや学び深めたことをクイズや体験を交えて伝えました。



3組「きらきら☆おりぞめやさん」

和紙の折り染め体験のお店を開きました。子どもたちは染める材料についての〇×クイズや、染める体験などの説明や案内を上手に行い、立派に店員さんの役を果たしました。参加されたみなさんは、世界に一つだけの作品ができました。



2年生「わくわくおもちゃランド」

家で集めた身近材を使って、大人も子どもも楽しむことのできるおもちゃランドを開きました。

また、おもちゃをどのようにして遊ぶとより楽しくなるかを、友達と相談したり協力したりして、創作しました。保護者や地域の方、他学年の人を楽しませようと、説明や接客を頑張る姿がキラキラと輝いていました。



4年生「伝えよう!舞岡川、じゃぶじゃぶ池の魅力!」

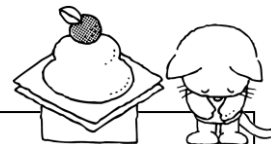
舞岡川やじゃぶじゃぶ池の魅力を伝えるため、生き物を展示したり、生態などを説明したりしました。またクイズラリーや映像を見てもらいながら、今後も舞岡の自然を大切に守っていきたい気持ちを伝えました。



6年生「だれもが住みやすい町 舞岡を守り隊!」

「舞岡の町のためにできること」という思いからスタートし、福祉体験を行いました。車いす体験やアイマスク体験などの多くの体験を通して、町のみんが町の人の役に立ってほしいという思いを伝えました。





人権週間取り組み

今年の人権週間は劇団プレイパッカーズによる即興劇を観劇しました。

「やさしくする」、「思いやりをもつ」とはということなのだろうということを身近なテーマにして、友だちの体験談をもとにした即興劇を見ました。相手（友だち）の気持ちをより身近に感じることができ、相手を大切にすることが、やさしくするってことなんだと、お互いを理解しようとするきっかけとなりました。



食育キャラバン

毎年行われている、マリノスのコーチによるサッカー教室が、2年生を対象に12月18日（水）に行われました。

初めてサッカーに挑戦する子もいて「むずかしい〜」「たいへん!」と言いながらも心地よい汗をかきました。サッカー教室の後は給食と一緒に食べ、朝食が大切であるとお話されました。



校内作品展

12月5日から10日まで開催しました。

近隣の幼稚園や保育園の園児たち、施設のみなさんもたくさん来校されて、賑やかな作品展となりました。



第2回元気向上会議

12月12日（木）に第2回元気向上会議がありました。残食を減らすためにクラスや委員会で取り組んだことを発表しました。また、元気向上委員会が作成した「栄養マスターかるた」に挑戦し、楽しみながら栄養について学ぶことができました。詳細は12月の最終日に配付した「元気向上会議報告」をご覧ください。



児童指導専任より

メールやSNSで写真や動画を送ったことでトラブルになったり、中高校生では「自撮り被害」が増加したりしているようです。子どもがスマホなどで撮った写真や動画を不用意に友達に送らないように、各ご家庭でもお声掛けをお願いいたします。

貸出用の上履きをたくさん寄付していただき、ありがとうございました。引き続き、大きいサイズ（23cm以上）が不足していますので、募集中です。



11月より勤務していただいた非常勤栄養職員 宮内絹子先生ですが、一身上の都合により退職されました。引き続き派遣で湯沢藍先生が勤務されます。（毎週木曜日）